

宮城県よろず支援拠点 コーディネーター行動指針

2019/11/11 チーフコーディネーター佐藤創

宮城県よろず支援拠点の各コーディネーターの行動指針を示す。この内容に沿って事業者支援に当たることを徹底する。

●宮城県よろず支援拠点での支援手法について

1. チーム支援による出口までのシームレスな一貫支援を徹底する
→専門的な課題を、解決するまでチーム一丸となって支援を行う
2. 目先のアドバイスではなく真の課題を掘り起こし解決するコンサルティングを行う
→聞かれたことに答えるだけ・助言するだけの支援ではなく、事業者の真の課題を掘り起こす
3. 事業者のどんな現状もすべて受け入れ、経営課題解決を自分ごととして考える
→自分が事業者だったらどうするか？売り上げを上げるために何をするか？この視点で考えていないと単なるアドバイスになってしまう。自分事として考えることで本気の支援を提供できる。
4. 事業者の自信とやる気を引き出す
→事業者のウリを見つけ出し磨き上げることで、「来てよかった」と言われる面談を行う。
5. 結果を出すことにとことんこだわる
→売上拡大、資金繰り安定化が実現するような支援を徹底する。
6. 事業者の現在の状況をすべて「是」として受け入れ、事業者と合意したゴールに向かって支援する
→「もっと早く来ればよかったのに」を考えない。今この場での最善策を提案しつづける。

●宮城県よろず支援拠点業務に従事中のコーディネーター行動指針について

1. 宮城県よろず支援拠点での勤務中は国の税金で活動している公人であることを意識した行動をする。
2. 宮城県よろず支援拠点の勤務中に私的名刺の使用は禁止（当拠点の名刺のみ使う）。
3. 宮城県よろず支援拠点の勤務中に、当拠点以外の他の仕事（私的・別支援機関など）は禁止。
4. 自身の行動基準として、「自分の行動は国民に説明して納得してもらえるか」を置く。国税を使った事業であることを意識し、自分の行動が国民への説明責任を果たせるかを念頭に置いて考える。
5. 自身の行動として迷った場合はチーフコーディネーターに連絡し、各自勝手な判断はしない。
6. 宮城県よろず支援拠点を入口とした案件を、自分の有料の仕事へ誘導することは、いかなる理由があっても厳禁。

以上